

県政懇談会 in 一宮

質問に答えます
NO.2

県立高校の図書館は、古い本が目立ちますが？

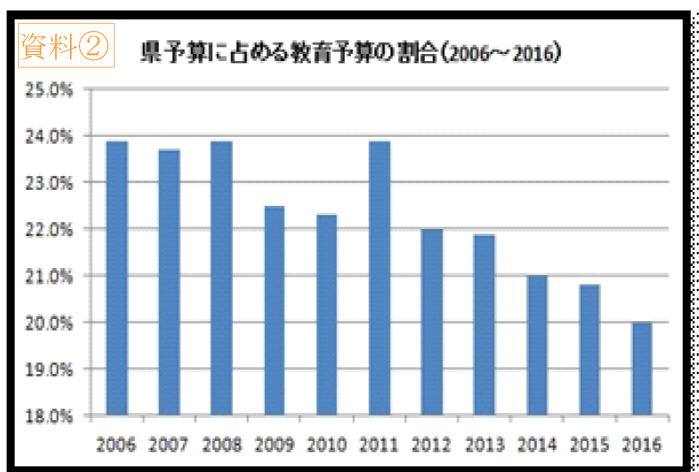
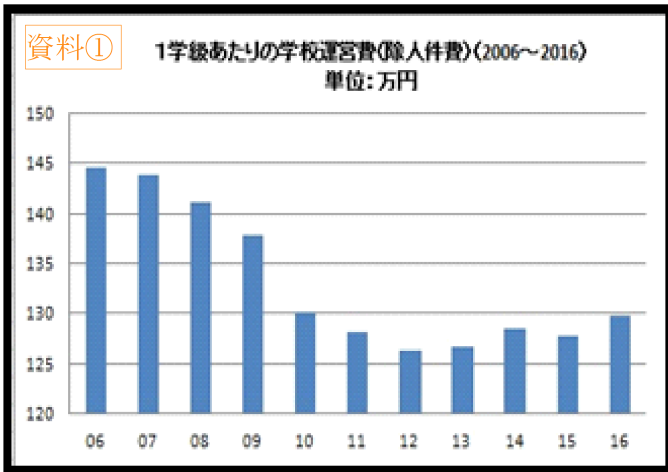
愛知県の県立高校における図書購入費が含まれている学校運営費については、1学級あたりの額で見ると10年前の約89%となっており、1割強の減となっています（資料1参照）。

また、愛知県の一般会計歳出総額に占める教育費の割合は約20.0%で、10年前の約23.9%から後退しています（資料2参照）。

こうした状況の中で、図書購入費へしわ寄せがい

き、十分な額が確保できていません。

文科省の地方教育費調査（2014年度）でみると、愛知県は、全日制高校及び障害児学校における生徒一人あたりの経費が全国最下位です。一方で、総務省の地方財政状況調査（2014年度）における財政力指数は東京都に次いで全国第2位です。財政力があるにもかかわらず、教育にお金をかけない愛知県政のあり方を抜本的に変えていく必要があります。



質問 県営住宅は空家が多い。募集しないの？（江南・宮後住宅）

「県営住宅は空き家が多い。なぜ、募集しない？」懇談会の参加者から質問です。

県庁の県営住宅管理室に尋ねましたら、出された資料が右表です。

| (江南市) | 棟名 | 竣工年度 | 浴槽・風呂釜 | 戸数 | 空家 | 空家率 |
|-------|--------|---------|--------|-----|----|-----|
| 宮後住宅 | 1-13棟 | S56-S58 | なし | 204 | 62 | 30% |
| | 14-16棟 | H2-H3 | あり | 60 | 1 | 2% |

「常時受け付けしていますが、風呂設備が自己取付けのため敬遠されています」（県回答）

「宮後住宅は建設時期が2つに分かれており、昭和50年代後半の住宅は「浴室はあっても、浴槽や風呂釜は入居者負担」、一方、平成時代に建設の住宅は竣工時に風呂は完備しており、家賃に反映していますが自己負担はありません。そのため、応募があっても敬遠されています。常時先着順で募集、2年間で延べ60戸を応募して応募は6戸しかありません」が県当局の回答です。

県営住宅は昭和40年後半から50年前半が建設ピーク、5万9千戸の半分以上は昭和時代の建

設のため、「浴槽や風呂釜は入居者負担」「中層（4階5階建て）でエレベーターがない」「外装がきれいではなく、古さが目立つ」などで敬遠されています。

建て替えのために空室としている戸数を除いて7千余戸が空き家になっています。

県営住宅の維持修繕費は、95年度の67億円をピークに33億円まで落ち込み、今年度は45億円です。また、一般会計の公営住宅建設費（立替費や長寿化改善費）も95年度は250億円でしたが今年度は65億円と落ち込んでいます。

県営住宅は、憲法25条（健康で文化的な生活を営む権利の保障）の住宅版です。その立場に立つ行政の姿勢が愛知県政に問われています。